



FÉDÉRATION INTERNATIONALE DE SKI
INTERNATIONAL SKI FEDERATION
INTERNATIONALER SKI VERBAND



CH-3653 Oberhofen (Switzerland), Tel. +41 (33) 244 61 61, Fax +41 (33) 244 61 71;
FIS-Website: www.fis-ski.com

アルペン国際競技規則決定事項及び指導事項2010/2011北半球版

- 加盟国スキー連盟*
- FISカレンダーに掲載されている全アルペン競技会の主催者
- 技術代表の任務のために
- * チームキャプテン及びコーチへの情報提供の為に各加盟国スキー連盟に送付。
増版転載は加盟国スキー連盟の義務

1. ICR2010

変更の推奨。

- 215.2 各国スキー連盟は、同一日程に開催される複数の競技会に、同一選手をエントリー およびドロー してはならない。

2 本目の制限

- 806.2 2 本目の制限 (Limitation in the Second Run)
ジュリーには、2 本目の出場選手人数を 1 本目スタートリスト上の半分に減らす 権利がある。 1 本目のスタートの 1 時間前までに、その決定がなされなければならない。ただし、減らす場合にはそのことを大会要項(招待状)に明記するか、レース開始前に公式掲示板で発表し、かつ、ドロー前にチームキャプテンミーティングで通達していること。

- 906.2 2 本目の制限 (Limitation in the Second Run)
ジュリーには、2 本目の出場選手人数を 1 本目スタートリスト上の半分に減らす権利がある。 1 本目のスタートの 1 時間前までに、その決定がなされなければならない。

~~Giant Slalom for K1 may be conducted in one run or two runs.~~

~~Giant Slalom for K2 will be conducted in two runs.~~

~~An organiser may limit the number of participants in the second run to 60.~~

シングルゲートジャイアントスラローム種目

- 904 シングルゲートジャイアントスラローム種目
ICRに記載されているすべてのルールが適用される。但し、以下は例外とする：

904.1 シングルゲートジャイアントスラローム種目は、国際FISレベルの競技にのみ許可される。

(参照条項：201.3.4 201.3.5 201.3.6)

904.2 シングルゲートジャイアントスラロームはアウトサイドゲートを持たない。但し、第一旗門及び、最終旗門、ディレイゲートは例外である。

904.3 アウトサイドゲートが存在しない場合、選手の両足とスキーの両先端が自然な競技ラインにおけるターニングゲートサイドのターニングポールを通過する。自然な競技ラインとは、ターニングポールからターニングポールを結ぶラインを言い、競技者はこのラインを横切らなければならない。もし、競技者が競技ラインを正確に通過しなかった場合、彼は登り返り、通過しなかったターニングゲートを回りラインを通過することができる。アウトサイドゲートが存在する旗門（第一及び最終旗門、ディレイゲート）には、ICR 661.4.1条が適用される。

904.4 コースの幅に関するルールと規定は、想像上のアウトサイドゲートがあると考え、考慮されるべきである。

2. ワールドカップ

ワールドカップルール

5.4 渡航費用の支払い

組織委員会は、該当する各国スキー連盟に銀行送金で~~のチームリーダーに直接兌換通過~~できれば支払うべきである。~~わなければならない。~~

6. 賞金

主催者は賞金として1レース CHF100,000以上を準備しなければならない。この金額は上位10名の選手に配当される。クラシカルコンバインドの場合は上位3位に配当される。賞金の合計金額及び配当方法は、10月15日までにFISに連絡しなければならない。

複数の選手が同じ順位にいる場合、次の順位の合計金額を足し、該当選手の人数で割る。

現地の税法を考慮し、支払いは、銀行送金でできれば支払われるべきである。現金または兌換通過を表彰式で授与しなければならない。

組織委員会は、大会開催国で賞金に関わる税問題を抱える選手を援助しなければならない。

ワールドカップルール及びFISアルペン世界選手権大会団体種目ルール

1. 種目のタイプ

- ・レースはパラレル種目GSで行われる。
- ・GSの旗門とフラッグが使われる。

2. 参加資格

- ・~~団体種目前の、ワールドカップファイナル前の~~ワールドカップ最終レース後のオーバーオール・ワールドカップ・ネーションズカップスタンディング上で上位16カ国。
- ・各チームのトータルサイズは、6名以内。各性別2名以上からなる。
- ・一人1回のみスタートできる。
- ・団体種目の最終エントリー（名前なし）は、予定されているワールドカップレースの最終レース（女子 or 男子）後24時間以内、団体種目前に、行わなければならない。

3. チームのシード

・次のように、16カ国が8つのヒートに振り分けられ、ブラケットが作られる。

ヒート1：1位と16位の国

ヒート2：8位と9位の国

ヒート3：5位と12位の国

ヒート4：4位と13位の国

ヒート5：3位と14位の国

ヒート6：6位と11位の国

ヒート7：7位と10位の国

ヒート8：2位と15位の国

・ネーションズカップスタンディングの1位の国が、ビブナンバー1を付け、最後の国が、ビブナンバー16を付ける。

・アルファベット順に、女子が1から4のビブを受け取り、男子が5から8のビブ受け取る。

・ヒートが不完全の場合（例：10カ国のみがスタート）、出場している国が、自動的に次のラウンドに進む。

4. 競技の運営

各レースは、二人一組で1 ~~ラップ~~ スレック とする。

スタート順は、以下のとおり。

青コース 1位の国の女子1対 赤コース 16位の女子1

青コース 1位の国の男子1対 赤コース 16位の男子1

赤コース 1位の国の女子2対 青コース 16位の女子2

赤コース 1位の国の男子2対 青コース 16位の男子2

青コースは、選手の右側に位置する。

5. ポイントの付け方

・各 ~~ラップ~~ スレック の勝者の国に1ポイントが与えられる。

・同着の場合、両方の国に1ポイントが与えられる。

・ヒートが終わった後、両国の獲得ポイントが、同ポイントの場合、男子と女子のベストタイムの合計タイムの一番少ない国が次のヒートに進む。（ベストタイムが同タイムの場合、2番目に良いタイムの合計タイムが一番少ない国が次のヒートに進む。）

・両方の選手が転倒した場合、最初にフィニッシュラインに達した選手が勝者になる。もし両方の選手がフィニッシュしなかった場合、より遠くまで滑った選手が勝者になる。

失格の理由(即時、異議なし)

・コースの変更

・相手を邪魔する。（故意、故意でなく）

・旗門を正しく通過しない。（ICR661.4.2条を参照）

~~• Turn not executed on the outside of the gate~~

6. 賞金

賞金総額：100,000CHF

上位3カ国：90%

20%がそれらの国のスキー連盟に行き

70%が参加選手に行く。

特別賞 10%

ベストタイム女子：5%

ベストタイム男子：5%

7. ワールドカップポイント

ワールドカップポイントが、次のように与えられる。

女子（男子も同様）

1位 200

2位 160

3位 120

4位 100

5位～8位 60

9位～16位 30

執行部会は、この種目の名称にトニーザイラーの名前を使うことを推奨する。

シティーイベントルール(2011年1月2日、ミュンヘン)

出場資格：

ワールドカップ総合順位(WCSL)の上位男女15名が、このパラレル種目に出場する資格がある。開催国は、上位15名までに自国の選手がいない場合、ワイルドカードを男女1枚ずつ使用できる。開催国が、上位15名に自国の選手がいる場合、自動的に、16位の選手が出場資格を得る。出場資格がある選手がエントリーをしない場合、16位の選手とそれに続く選手がエントリーできる。

様式：

パラレル種目（国際競技規則1220条～1231条）

失格：1本目では失格はない。タイムペナルティー：最大0.5秒以下。2本目の失格：国際競技規則1232.1条～1232.2条。どちらの選手が、2本目を完走しない場合、1本目のリザルトを考慮する。両方の選手が失格になる、または1本目を完走しない場合、2本目に一番遠くまで行った選手が、次のラウンドに進む。2本目終了後、タイの場合、1本目のリザルトを考慮する。国際競技規則とワールドカップルールが適用される。

ポイント：

ワールドカップポイントが、すべての選手に与えられる。

スケジュール:

ファーストラウンドの敗者は、ワールドカップポイントを15ポイント得る。

セカンドラウンドの敗者は、ワールドカップポイントを30ポイント得る。

優勝者は、100ポイント、

準優勝者は、80ポイント、

3位は、60ポイント、

4位は、50ポイントをそれぞれ得る。

賞金:

優勝賞金: 100' 000 CHF 以上 (男女別)

支払い:

ワールドカップルールに準じて、開催者は、選手一人毎に、サービスマン1名とオフィシャル2名分の宿泊代と食事(3食)を支払わなければならない。

旅費:

ワールドカップルール5.1条に準ずる。

保険:

ワールドカップルール7条に準ずる。

期間:

到着: 01. 01. 2010

出発: 03. 01. 2010 朝食後

大会スケジュール:

到着 2010年1月1日

トレーニングスタート、フリースキー、参加選手の紹介

TV局との調整後、詳細な時間が連絡される。

予選 2010年1月2日

ファーストラウンド 女子8ヒート、男子8ヒート

1本目と2本目をあわせて、30分

準々決勝、準決勝、決勝をあわせて、1時間30分

TV局との調整後、ランダウン・オーダーとスタートタイムが連絡される。

開催者は、スタート地点への短時間で選手の移動を保証しなければならない。

コース:

コースとフィニッシュエリアの状態は、チーフレースディレクターの承認を得なくてはならない。十分な性能の降雪機により、ワールドカップコースの基本的な準備が、保証されなくてはならない。レースコースのメンテナンスは、ワールドカップスタンダードに達していなくてはならない。

3. FIS アルペン世界選手権大会

世界選手権大会の予選システム

1.1 予選レース

技術系種目の予選レースが行われる。

上位 50 名が、本戦に進む。

また、上位 50 名に入らなかった国の上位 25 名が、本戦に進む。

これらの 75 名の国以外の上位 25 カ国は、予選に参加した選手を 1 名指名し、本戦に進ませる権利がある。これらの選手は、当該種目で FIS120 ポイント未満を取得していなければならない。

予選に出たすべての選手は、FIS アルペン世界選手権大会の各レースのオフィシャルリザルトリストに掲載される。

上位 50 選手が怪我や病気をした時の交代は、メディカルスーパーバイザーがそれを証明し、50 位の選手の WCSL ポイントや FIS ポイントと同等もしくはそれより良い選手とのみ交代できる。最初にエントリーした 50 位の選手の WCSL ポイントや FIS ポイントが考慮される。繰上げはない。この作業には、最初に WCSL ポイントを使い行われ、その次に FIS ポイントが使われる。

1.2 ファイナルレース

最大 100 選手が、1 本目を滑ることができる。

1.3 ファイナルレースの 2 本目

開催者は、2 本目に進む選手を ~~30~~60 名に制限できる。

4. FIS 競技用品規格

1.2.1 形体

マスターズレーサーに対しては、以下のスキーの長さと同半径の規格は推奨のみとなる（例外：スーパー-G）。しかし、スーパー-Gの スキーの最小値は、規格はすべてのマスターズレーサーに対して、義務となる。

1.2.1.1 スキーの長さ

MAS：女子 55 歳以上、男子 65 歳以上 に対して、スキーの長さ、幅、半径の制限はない。

3.2 ブーツソールの厚さ

全てのハード及びソフトパーツを含むヒールの底部からスキーブーツソールまでの間隔

男女、チルドレン 1 & 2： 43mm 以下

マスターズ

男女： 45mm 以下 (推奨)

11 歳未満の子供に対する推奨：

スキーの高さとブーツの高さは、チルドレン 1、2 と同じである。